

11/20

アルゼンチンへ帰国 うるま市での3か月間の研修を経て

「うるま市海外移住者子弟研修」 研修報告会

沖縄の文化や歴史を学ぶため、アルゼンチンからうるま市へ研修に来た福原パウラ菜津子さん（日系3世）の研修報告会が、健康福祉センターうるまで行われました。

報告会では、菜津子さんが3か月で学び制作した陶芸や書道、墨絵などが展示され、その完成度の高い作品に、多くの参加者が見入っていました。

また、舞台では会場に集まった親族、他市町村の研修生、太鼓や琉舞を指導していただいた先生方が見守るなか、この研修で学んだ琉球舞踊（かぎやで風）、三線（安里屋ユンタ他3曲）、「琉球古武道太鼓」、「うるま市音頭」を披露しました。

初めての琉舞用の化粧に照れながらも、記念撮影を行うなど、終始和やかな雰囲気での報告会を終えました。



【迫力ある琉球古武道太鼓を披露】

うるま市民の皆様へ

研修を通して、おじいの生まれ故郷である沖縄、うるま市のことや、私がアルゼンチンで生まれたルーツを知ることができました。私にとってうるま市ははととも誇りに思う特別な場所です。人は生まれる場所を選ぶことができませんが、願いが叶うならばうるま市に生まれたいです。今回の研修で学んだ沖縄の文化や歴史を祖国にも伝え、うるま市とアルゼンチンの友好の掛け橋となるよう頑張ります。3か月間、本当にありがとうございました。



うるま市海外移住者子弟研修
研修報告会
福原パウラ菜津子



【お世話になった親戚の皆さん】

11/12

「今、直売所がおもしろい！」 うるま市農水産業振興戦略拠点施設事業キックオフ記念講演会



【島袋市長と松本氏による座談会】

平成28年度供用開始予定の農水産物直売所に関して、事業のキックオフ講演会が、健康福祉センターうるまにて開催されました。講師は、栃木県の滞在体験型ファームパーク「ろまんちっく村」を運営している松本謙氏。全国の成功事例や仕組みづくり、人材育成の手法などについて講演され、約200名の市民が聞き入りました。講演後の質疑応答の際には市民からの質問が相次ぎ、事業への期待と関心の高さが伺えました。翌日には第1回ワークショップも開催。約50名の市民が参加し、うるま市のこれからの真剣に考えた意見が多くありました。

11/17

「たかはなりじま」 水土里の路ウォーキング



【貯水池の側に記念植樹も行われました】

農地や水、保全管理施設等の資源の重要性の認識を深めることを目的に、水上里の路ウォーキングが宮城島で開催されました。給水地では地元の方々による太鼓や手拍子での応援が多く見受けられ、元気をもらった参加者は、宮城島に関するクイズを解きながら10キロの距離を歩きました。

11/18

小型消防車寄付



一般社団法人日本損害保険協会のご厚意により、離島に対する消防施設の寄贈式が開催されました。同協会沖縄支部委員長の濱田剛様から、津堅島に配備する最新の「小型動力ポンプ付軽消防自動車」の目録が島袋市長へ手渡されました。